

A 1 6 初 級 (実習あり)	<h1>特許発明の書き方（化 学）</h1> 発明の捉え方、化学特有のポイント 発明提案書の必須事項とまとめ方
講 師	弁理士 松山 裕一郎 (アステック特許事務所 所長、元 日本メクトロン(株) (NOKグループ)、 東京都立大学、神奈川大学 非常勤講師)
日程・場所	東京会場 7月8日(木)、12月9日(木)
時 間	1日間(10:00~16:00) // 昼休憩 11:45~12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	24名(先着順申し込み)
受講料	20,000円(税込22,000円)
対 象	化学分野の研究開発者、知的財産部門の実務初級者
内 容	
化学分野における研究・技術者、初心知財部員のために、明細書原案・発明提案書をまとめるための知識を習得する講座です。発明をどのように捉えるべきか、発明を把握するために取得すべき情報・データは何か、明細書を作成する弁理士に必要な情報を伝えるための表現方法を学びます。化学分野特有の留意点を踏まえて解説します。多数の特許明細書作成実績のある現役のベテラン弁理士がノウハウをお伝えします。	
プログラム	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 発明を把握する？ <ul style="list-style-type: none"> ・ 発明って何？ ・ 発明把握のために必要なこと（化学分野特有の事項を踏まえて） <ul style="list-style-type: none"> ✓ 審査官の立場（特許をとる観点）で ✓ 出願人の立場（ビジネスを進める観点）で 2. 明細書を知ろう <ul style="list-style-type: none"> ・ 明細書ってどうなっている？ ・ 明細書に必要な情報を集めよう 3. 明細書（発明提案書）を書いてみよう <ul style="list-style-type: none"> ・ 明細書と請求項の関係を知ろう ・ 請求項の2種類の類型 (発明のカテゴリーによる類型と記載方法による類型)を知ろう ・ 各類型の書き方を簡単に！ ・ 実際に書いてみよう 	

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。